

「のりこえよう」

学校再開まで2週間。子どもたちが安心して登校できるよう、先生たち皆で準備しています。

先週見つけたすてきな光景をお伝えします。おはようございます。先生！家で折り紙を作った。ききました。」と、4年生が両手に抱えるほどの大きさをの折り紙仕立ての万華鏡を手渡してくれました。次々に色が変わる仕組みになっていた職員室で披露すると先生たちも驚いていました。折り紙のプロで自信につながると思っていました。

「本屋さんでは売っていなかったシリーズが学校の図書室で借りられたからよかったです。」と、弾む声は3年生。本が好きになっていることが分かりこちらまでうれしくなりました。

校門で出会ったご家族は「6月1日から久しぶりに登校するので、少し練習を始めたいです。」とお父さんが教えてくれました。子どもも心と身体を思いうお父さんの温かい気持ちが伝わってきます。

毎週図書貸出日には保護者の方とジョギングをし、てくる2年生のお子さんもいます。お子さんの運動のため、家族が気を配ってくださっているんだなあと感じます。このジョギングも毎週続けることで成果が見られてきました。はじめの頃は息が切れて立ち止まっていたのですが、今では爽やかな笑顔で完走。努力しているのがよく分かります。

先日の図書貸出日には、中学1年生のお兄さんが、兄弟の送り迎えをしてくれていました。少し会わないうちに素晴らしい中学生になっていることがよく分かりました。「ありがとう。お兄ちゃん。」

